

<費用対効果分析の結果>

【治水経済調査マニュアル(案)による】

①便益額(B)

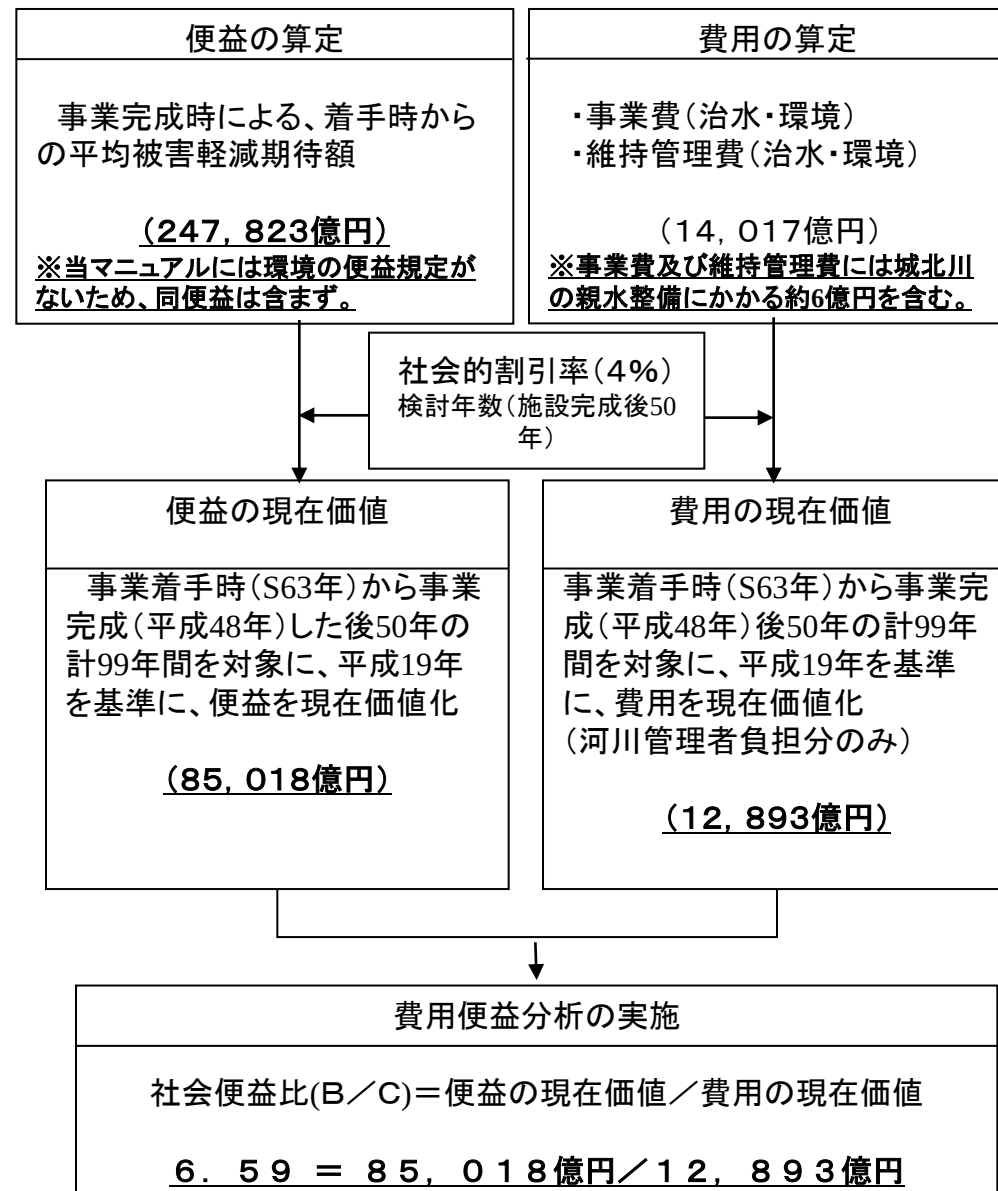
	費用
基準年	平成20年度
単純合計	<u>24,782,312百万円</u>
基準年における現在価値	<u>8,501,772百万円</u>

②費用(C)

	費用
基準年	平成20年度
単純合計	1,401,694百万円
基準年における現在価値	<u>1,289,293百万円</u>

③評価指標の算定結果

費用便益比
B/C $=6.59$



* 社会的割引率: 今年の価格と来年の価格とは同じ価格でも実質的な価値が異なることを考える必要がある。通常は来年の価格の方が価値が低いので、割引率を用いて換算する(各年の便益を現在の価値に割り引く)